

# 2023年10月 東京地区百貨店売上高概況

2023年11月24日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,323億円余
2. 前年同月比(増減率)	8.0%(26か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭8.9%(93.0%)：非店頭-2.9%(7.0%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店 (2023年9月対比±0店)
5. 総店舗面積	744,130㎡ (前年同月比：-1.8%)
6. 総従業員数	13,755人 (前年同月比：-6.7%)
7. 3か月移動平均値	3-5月 10.7%、4-6月 9.8%、5-7月 10.1%、 6-8月 10.8%、7-9月 9.6%、8-10月 8.1%

[参考] 2022年10月の売上高増減率は17.0%

### 【特徴】

- (1) 10月の東京地区は、売上高8.0%増(26か月連続)、入店客数7.3%増(10か月連続)と、共に前年実績を上回った。気温が高止まりしたことで重衣料の動きは鈍かったものの、高付加価値商材や化粧品の好調に加え、インバウンドの増勢が売上増に寄与した。コロナや消費増税の影響のない2018年比でも2.7%増と、回復基調は更に鮮明になってきた。
- (2) 商品別では、主要5品目のうち、食料品を除く4品目がプラスとなった。主力の衣料品(6.5%増/25か月連続)は、天候与件からコートは苦戦したものの、ジャケットやブルゾン等の軽量アウターが好調だった他、ワンピースや薄手のニットは堅調に推移した。
- (3) 身のまわり品(12.9%増/26か月連続)は、ラグジュアリーブランドで一部価格改訂前の駆け込みが見られた他、活況なインバウンド需要も加わって、2018年比でも約3割増加(27.1%増)し、一段と大きく伸びを示した。雑貨(17.4%増/26か月連続)は、化粧品が国内外の需要を取り込み、リップ等メイクアップ商品の他、フレグランスやメンズコスメも含め幅広い品目で好調に推移した。
- (4) 食料品(0.4%減/3か月連続)は、僅かに前年には届かなかったが、菓子は贈答・手土産需要の他、自家需要でも栗や柿を使用した季節商材などに動きが見られた。おせちやクリスマスケーキの予約、歳暮の受注はECを中心に順調な出足となっている。
- (5) 11月中間段階の商況は、気温の低下に伴い、秋冬物衣料が動き始めてきたことから、前年比7.6%増(11/16時点)、2019年比では7.4%増で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日(前年同月比 +1.2日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)  
①増加した：16店、②変化なし：0店、③減少した：1店
- (3) 10月歳時記(秋物商戦、秋の行楽)の売上(同上/有効回答数12店舗)  
①増加した：3店、②変化なし：9店、③減少した：0店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2023年10月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>132,397,934</b>	<b>100.0</b>	<b>8.0</b>
紳士服・洋品	11,211,573	8.5	6.6
婦人服・洋品	23,367,761	17.6	7.6
子供服・洋品	2,077,646	1.6	4.7
その他衣料品	1,640,092	1.2	-6.6
<b>衣 料 品</b>	<b>38,297,072</b>	<b>28.9</b>	<b>6.5</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>24,054,342</b>	<b>18.2</b>	<b>12.9</b>
化粧品	11,098,527	8.4	19.5
美術・宝飾・貴金属	15,597,858	11.8	17.4
その他雑貨	4,652,488	3.5	12.7
<b>雑 貨</b>	<b>31,348,873</b>	<b>23.7</b>	<b>17.4</b>
家 具	1,557,700	1.2	19.3
家 電	729,594	0.6	-1.1
その他家庭用品	2,864,693	2.2	2.0
<b>家 庭 用 品</b>	<b>5,151,987</b>	<b>3.9</b>	<b>6.2</b>
生 鮮 食 品	3,422,406	2.6	2.0
菓 子	7,897,492	6.0	5.6
惣 菜	7,459,280	5.6	-1.0
その他食料品	8,593,336	6.5	-5.7
<b>食 料 品</b>	<b>27,372,514</b>	<b>20.7</b>	<b>-0.4</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>2,379,743</b>	<b>1.8</b>	<b>11.1</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>1,615,978</b>	<b>1.2</b>	<b>-25.7</b>
<b>そ の 他</b>	<b>2,177,425</b>	<b>1.6</b>	<b>11.5</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,425,365 千円	-2.1
従 業 員 数	13,755 人	-6.7
店 舗 面 積	744,130 m <sup>2</sup>	-1.8

営 業 日 数	31.0 日	前年	29.8 日
---------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は食料品を除く4品目でプラスとなり、身のまわり品、雑貨は二桁増となった。その他の品目は、化粧品が26か月連続、美術・宝飾・貴金属が5か月連続でプラスとなったほか、生鮮食品が3か月ぶりにプラスとなった一方、家電が13か月ぶり、惣菜が3か月連続でマイナスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>8.0</b>	<b>—</b>	<b>26か月連続プラス</b>
紳士服・洋品	6.6	0.6	24か月連続プラス
婦人服・洋品	7.6	1.3	26か月連続プラス
子供服・洋品	4.7	0.1	16か月連続プラス
その他衣料品	-6.6	-0.1	6か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>6.5</b>	<b>1.9</b>	<b>25か月連続プラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>12.9</b>	<b>2.2</b>	<b>26か月連続プラス</b>
化粧品	19.5	1.5	26か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	17.4	1.9	5か月連続プラス*
その他雑貨	12.7	0.4	20か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>17.4</b>	<b>3.8</b>	<b>26か月連続プラス</b>
家具	19.3	0.2	2か月ぶりプラス
家電	-1.1	-0.0	13か月ぶりマイナス
その他家庭用品	2.0	0.0	4か月連続プラス
<b>家庭用品</b>	<b>6.2</b>	<b>0.2</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
生鮮食品	2.0	0.1	3か月ぶりプラス*
菓子	5.6	0.3	2か月ぶりプラス*
惣菜	-1.0	-0.1	3か月連続マイナス*
その他食料品	-5.7	-0.4	8か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-0.4</b>	<b>-0.1</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
食堂喫茶	11.1	0.2	20か月連続プラス
サービス	-25.7	-0.5	2か月ぶりマイナス
<b>その他</b>	<b>11.5</b>	<b>0.2</b>	<b>9か月連続プラス</b>
<b>商品券</b>	<b>-2.1</b>	<b>-0.0</b>	<b>8か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで  
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>